

取材先	点訳サークルあかね		
企画名	音声でスマホを操作してみませんか？		
備考			
取材日	2024年10月27日(日)天候[曇り] [ 13:00~14:00 ]	取材地	下関市身体障害者福祉センター

視覚障がいがある方、読み書きが困難な方やそのご家族、興味のある方を対象に「音声でスマホを操作してみませんか？」をキャッチフレーズに開かれたこの講座は、iPhoneやAndroidのスマホに入っている機能を使って、介護をされている方、視覚障がいがある方にとって、「日常生活が少しでも、便利で快適になるように。」という主催者である、「点訳サークルあかね」の田中会長をはじめ会員の皆さんの協力のもとに開かれました。田中会長からお話を伺ったところ、視覚障がいがある方の中で点字を読まれている方は、全体の約1割程度で、多くの方がスマホを利用されているそうです。

13時前に会場に到着すると、既にたくさんの方が来場されていて、田中会長も予想外の反響に驚かされていました。この講座では、BeMyEyes（ビーマイアイズ）とSeeingAI（シーイングアイ）の2種類のアプリを紹介していただきました。BeMyEyes（ビーマイアイズ）はiPhoneに対応していて、AIと世界数百万人のボランティアが対応してくれるグローバルなコミュニティで構成されており、ボランティアがビデオ通話を通じて「目」になってくれます。SeeingAI（シーイングアイ）は写真を撮ると、音声で被写体の説明や置かれている周囲の背景などを説明してくれます。

便利な機能とはいえ、初めて利用される方にとっては、とても不安で「指の動きが思うようにならず操作がうまくいくか？」「どのくらいの時間をかければ使いこなせるようになるか？」など、質問の内容も多種多様でした。たくさんの方の質問に田中会長も会員の皆さんも、デモ機を使いながら、アプリをダウンロードする所から説明をされたり、アプリを使用するにあたって心配な事などについて相談に乗ったりと、丁寧に対応されていました。

今やスマホは、私たちの生活に必要不可欠ですが、全ての機能を使いこなせていないのも事実でしょう。この講座をとおして、2種類のアプリについて知る機会を頂いたこと、アプリを通して行うボランティアの活動スタイルがあることを知りました。

視覚に障がいがある方やボランティアにご興味がある方などたくさんの方に知っていただき、ぜひこのアプリを活用して頂けたらと思います。「点訳サークルあかね」の皆さんありがとうございました。

レポート

状況写真

アプリのダウンロードから説明

受付の様子

操作方法の相談の様子

田中会長